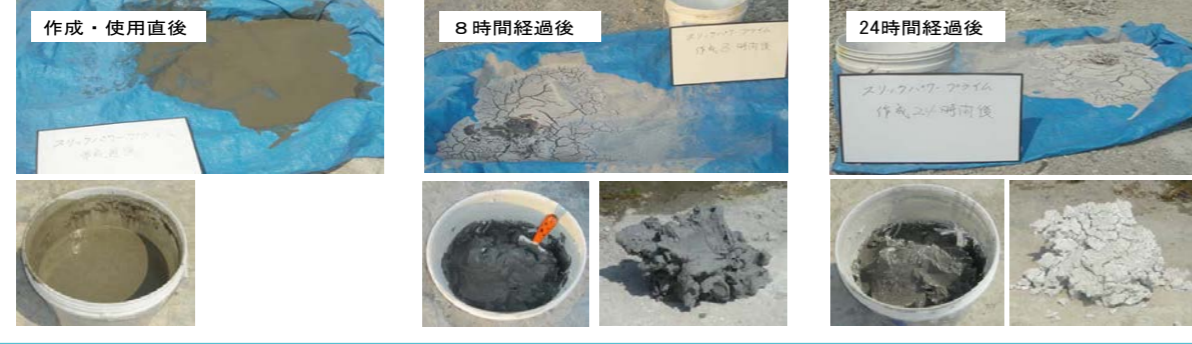


## 廃棄量・処分方法

2014.5.30改訂

### ①吐出されたスリックパワープライムは廃棄して下さい

<スリックパワープライム硬化状況>



### ②先端のプライムが混ざった生コン廃棄量

ブーム打設 曲がり管・T字管投入	ブーム打設 ホッパー投入	配管打設
ペール缶1杯程度	0.06~0.1m <sup>3</sup> 程度	

(品質管理データ 6~12ページ参照 廃棄量目安表22ページ参照)



#### <処分方法>

使用済みプライム、先端のプライムが混ざった生コンは、プライムは生コンに含まれている成分100%で作られている為残コンとして廃棄処分をお願い致します。プライム単体よりも廃棄生コンと混ぜると硬化が早くなります。  
※廃棄量に関しては、配管(圧送)距離や経験値等により当社データと異なる場合がございます。

## プライムと先行モルタルの違い・新規性

※ プライムはマイクロ粒子でフロー値が130ありますので、先行水不要。プライム・生コンと完全に区分し圧送しても圧送距離に応じて先端の生コンがプライムと馴染んでゆき、自動的にプライム生コン(モルタル生コン)になるのでどなたでも初期通し圧送【長距離圧送】が可能です。T字管投入によりプライムと生コンを完全に区分し圧送することにより、吐出された少量のプライム及び先端プライム生コン(モルタル生コン)を廃棄すれば以降は正常生コンなので品質も向上します。

## 閉塞ポイント

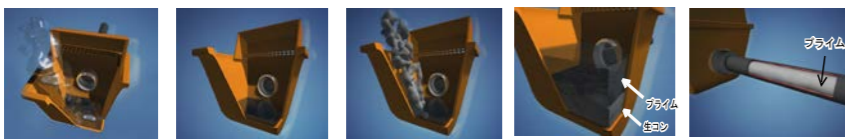
- ①残水:ポンプ車・配管・ホースに残水があった場合、プライムの流動性が上がり、閉塞部分は分離した状態となっています。
- ②使用量:スリックパワープライムの使用量が足りない場合、閉塞部分のコンクリートはパサパサの状態になっています。
- ③圧送速度:ゆっくり過ぎるとプライムが先端生コンに混ざりプライム生コンだけになってしまい先端部分のパサパサになり閉塞します。また高速圧送の場合には、プライムが拡散するので閉塞要因となります。

## ホッパー投入と吸わせ方手順

初期圧送には、先行剤であるプライムが、生コンより先行する必要があります。(生コンが先に送られてしまう場合は先行剤なしで圧送したことに同じになり、閉塞の原因になります)ホッパーに投入したプライムを生コンより先に送る為には、①プライムを先に送る ②ホッパーに残った少量プライムを全て先に送ることが重要になります。



※生コンでプライムをシリンダー内に誘導する際、生コンがシリンダー先端部分に少量入っても圧送に支障はない。プライムは粘性が高いため1度ではシリンダー内に吸いきれないので吸わせ方手順を2~3回程繰り返しプライムを先行させる。



- ①ホッパーにプライム投入、正転で送る
- ②ピストン式の構造上、プライムがホッパー内に少量残る
- ⑤正転・停止を繰り返しプライムをシリンダー内に吸い込み、生コンがシリンダー内に入る直前のS管を切替えるのがベスト!
- ③ホッパー内に生コンをゆっくり投入
- ④生コンに押し出されるようにプライムがシリンダー方向へゆっくり移動していく

## 全ポンプ打設用

配管・ブーム・超高強度コンクリート対応

次世代コンクリート誘導モルタル化剤

スリックパワープライム  
スリックパワープライムミニ

特許出願中

国土交通省 NETIS登録 KK-110037-V  
北海道20123001・兵庫県120010・茨城県B-13058  
新技術・新工法登録



株式会社ケミウスジャパン

<http://chemiusjapan.co.jp>

本社 〒651-1502  
神戸市北区道場町塩田2303-2  
TEL:078-985-0039  
FAX:078-985-0036

[青森代理店] 東北工業 有限会社

<http://www.touhoku-kogyo.jp>

本社 〒034-0107  
青森県十和田市大字洞内字井戸頭144-189  
TEL:0176-23-8244  
FAX:0176-23-4642

# スリックパワープライム・ミニ

従来モルタル工法と同じ原理の圧送方法で次世代先行モルタルを御提案  
**特 徴**

- 1、全てのポンプ打設対応(配管・ブーム・超高強度コンクリート対応)
- 2、スリックパワープライムとミニとの併用により、配管(圧送)距離に応じた使用量の決定により以下の削減が実現。  
**T字管使用で、さらにコスト・産業廃棄物削減！ 使用方法がより簡単・便利に、作業がより確実に行えますので、オペレーターの作業負担も軽減！**  
(1)購入コスト削減 **ブーム打設 3,300円～(8tブーム打設)**  
(2)廃棄量の削減 **80%以上**
- 3、**廃棄処分費及び労力削減！**
- 4、**圧送開始時間の短縮**
- 5、**保管・持運びが容易**
- 6、**現場にて作成・使用の為、先行モルタル運搬ミキサー車不要**
- 7、**先行水不要により汚水処理不要**
- 8、**CO2排出を抑制できるエコ商品**
- 9、**主成分にシリカフュームを使用、工業製品製造による産業副産物の為、環境保全に貢献**

※先行水は初期ポンプ圧送の閉塞防止に必要不可欠ですが、汚水となる上、品質低下の懸念もあります。

## 価格・荷姿・主成分

### スリックパワープライム

- ◆ サイズ 40cm×32cm
- ◆ 荷姿 3.3kgビニール梱包
- ◆ 重量 3.3kg/1袋×5袋 ペール缶入り
- ◆ 主成分 シリカフューム
- ◆ 希釈 **1袋に対し 希釈水19ℓ迄**
- ◆ 販売価格 **3,300円/袋(送料・税別)**



19ℓ目印付

### スリックパワープライムミニ

- ◆ サイズ 20cm×15cm
- ◆ 荷姿 1.65kgビニール梱包
- ◆ 重量 1.65kg/1袋×10袋 ペール缶入り
- ◆ 主成分 シリカフューム
- ◆ 希釈 **1袋に対し 希釈水9.5ℓ迄**
- ◆ 販売価格 **1,750円/袋(送料・税別)**



9.5ℓと19ℓ目印付

## 使用目安量

### ブーム打設

	先端ホースは吊った状態	先端ホースを道わせた状態
4t以下スクイズブーム+先端ホッパー投入	プライムミニ1袋	プライム1袋
4t～8tピストン地上高26mブーム+先端ホース、曲り管、T字管投入 土木・建築配合	プライム1袋	プライム1袋+プライムミニ1袋
10t地上高33mブーム+先端ホース、曲り管、T字管投入 建築配合	プライム1袋	プライム1袋+プライムミニ1袋
以外の地上高26m以上の大型ポンプブーム+先端ホース、曲り管、T字管投入	プライム1袋+プライムミニ1袋	プライム2袋
ピストン式ブーム+先端ホース ホッパー投入	プライム2袋	

※2014.1.28現在の目安であり、変更になる可能性があります。

### 配管打設

- ①ブームの使用・未使用  使用  未使用  
 ②地上高ブーム長 **+10m =** \_\_\_\_\_ m  
 ③②+配管距離 \_\_\_\_\_ m+テーパー管+先端ホース \_\_\_\_\_ m = 総延長距離 \_\_\_\_\_ m

プライム:1袋当り 土木配合--25m~35m 建築配合--33m~45m  
 プライムミニ:1袋当り 土木配合--12m~15m 建築配合--16m~22m

使用数量 \_\_\_\_\_ 袋

配管打設の場合ポンプブーム長の呼名は(例PY115-26A)地上高であり、ホッパー根元よりブーム先端ドッキングホースまでの距離はブーム長(地上高)+10mの計算にてお願い致します。

## 使用前確認

水は厳禁。ポンプ車・配管・ホースに水が残っていないか確認する

### スリックパワープライム作成方法



- ①ペール管の19ℓの目印、ミニ 9.5ℓ水を入れる。
- ②プライムを希釈水に投入する。
- ③**ハンドミキサーで練り混ぜる。** ※ダマがなくなれば作成可能

※希釈水が規定範囲を超えると内壁面に付着したプライムが流れおちる程度迄、流動性が上がってしまうのでご注意ください。

### 使用可能な目安と時間



作成後気温35℃の場合10～15分経過後3.5時間まで使用可  
 作成後気温20～25℃の場合5～7分経過後5時間まで使用可  
 作成後気温10℃以下の場合作成直後から8時間まで使用可

### 注意事項

時間経過に伴い凝結が始まり、付着率が上がりますので圧送距離が短くなる恐れがありますのでご注意ください。

## スリックパワープライム 使用方法

### <T字管及び曲り管投入>

- ① S管の右側から生コンをゆっくり投入し生コンがS管を乗り越えて左側の下方まで来た時生コンの投入をストップする。これにより、T字管より投入されたプライムがホッパーへの**浸入防止及びプライムと生コンを完全に区分**することが出来る。
- ② プライムをT字管及び曲り管より投入(先行水不要)
- ③ プライムをT字管及び曲り管より投入(先行水不要)
- ④ 生コン投入。圧送開始(モルタルと同じ圧送速度) ※超スロー及び高速圧送は不可 最適な圧送速度はS管の切替が3～4秒(吐出量半分)エンジン回転数800回転前後

## 廃棄量

### 同条件で50m配管打設した場合のスリックパワープライムとモルタルの廃棄量比較



スリックパワープライム 約11リットル



モルタル 約0.375㎡